

平成29年度国立教育政策研究所 研究指定校【日田市立東部中学校】

研究主題

自己存在感を実感し、主体的に学習に取り組む生徒の育成
 ～自立的・協働的に学び、数学的に思考・判断・表現する力が伸びる授業づくり～

H29の取組1

単元計画の作成

H29の取組2

「説明の基本形」を活用した数学的に表現する力の育成

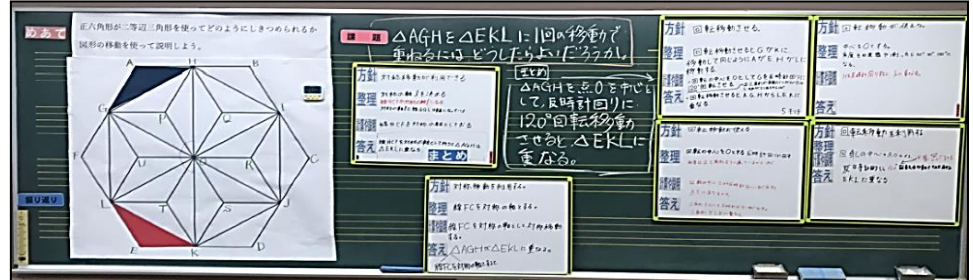
単元のねらい

これまでの習った学習内容との関連

単元のねらいが達成されたのかどうかを見る検証問題

他の教科との関連

「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を明記



課題解決の過程を、数学的な表現を用いて自立的・協働的に修正・改善した授業。



「説明の基本形」を利用して課題解決の過程を筋道立てて考えて記述する。



ワールドカフェ方式の意見交流を行い、説明の過不足を指摘し合う。

検証問題(全国調査「記述式」問題)

記述式問題の解答は、全国学力・学習状況調査の報告書と照らし合わせ、解答類型別に分類、検証を行う。

<成果>

- ①学習内容の系統性や他教科との関連、「付けたい力」が付いたのかどうかを見取る検証問題を位置付けた単元計画の作成と活用
- ②「説明の基本形」を利用した授業展開による説明する力の伸長
 検証問題(記述式)において無解答率が減少
 【2年生】無解答率(全国平均との差) 6月実施 +1.9% → 11月実施 -0.9%

<課題>

- ①生徒が学習の対象に問いを持ち、主体的に学びに向かうことができるような教材や課題の設定
- ②アンケート結果より、「数学＝計算」と捉えている生徒が多く、意識改革が必要である。学びの変容を実感させるような「振り返り」を行う必要がある。